



「(仮称)一宮市大和町物流センター計画」新築工事着工

三井物産都市開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：土原伸）は、愛知県一宮市にて開発推進中の「(仮称)一宮市大和町物流センター計画」の新築工事を2024年5月9日に着手致しましたのでお知らせします。

計画地は名神高速道路と東海 北陸自動車道の合流点である一宮 JCT付近に位置し、東海北陸自動車道「一宮西 IC」から 1.5km、名神高速道路「一宮 IC」から 6.4km と、複数の高速道路を利用でき、名神高速道路を経由して関西・東京方面、東海北陸自動車道で北陸方面にアクセスできる広域配送拠点として利用可能な優れた物流適地です。

当社は今後も三井物産グループの物流ネットワークを活用し、利用者ニーズを的確につかみ、物流機能・物流サービスの高度化・多様化に応える物流インフラ基盤としてのハード&ソリューションを提供し、企業の経営戦略に新しい価値を創造してまいります。

< (仮称)一宮市大和町物流センター計画 完成イメージ >



【計画概要（予定）】

所在地：愛知県一宮市大和町北高井字千束55番他
 アクセス：名神高速道路「一宮JCT」から0.4km
 敷地面積：6,370㎡ (1,926坪)
 延床面積：1,1203㎡ (3,437坪)
 規模・構造：S造・地上3階建
 竣工：2025年春

計画につきましては変更する場合がございます。

1階平面図・配置図



2・3階平面図



断面図・面積表



3F	倉庫/共用部	3,779㎡
2F	倉庫/共用部	3,630㎡
	事務所	149㎡
1F	倉庫/共用部/パース	3,109㎡
計	合計貸床面積	10,667㎡ (3,226坪)

■：事務所 ■：垂直搬送機 ■：荷物用EV ■：トラックパース
■：緑地帯 ■：トラック待機場

